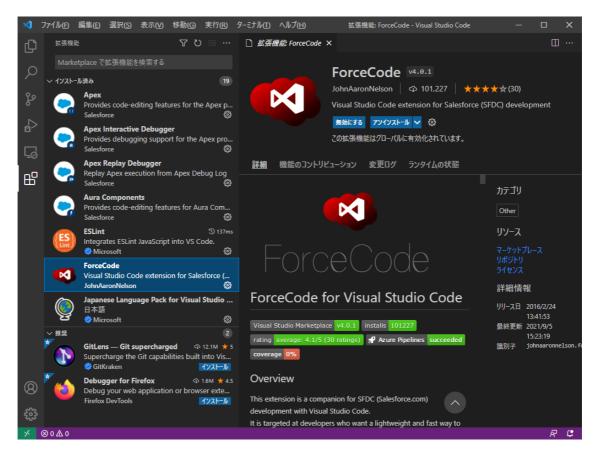
# ForceCode導入&マニュアル

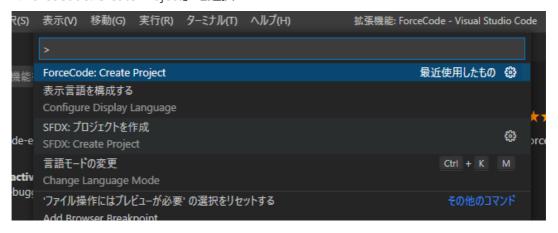
1. VSCodeの拡張機能「ForceCode」をインストール



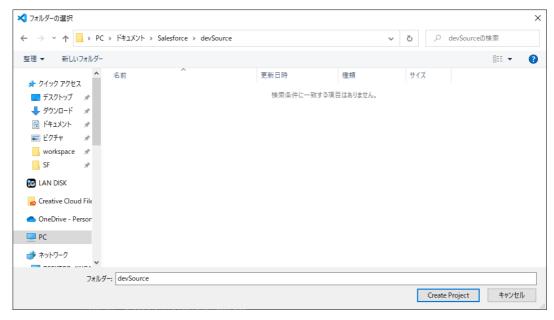
# 2. 開発環境ディレクトリ指定

1. 「Ctrl+Shift+P」でコマンドメニュー表示

「ForceCode: Create Project」を選択



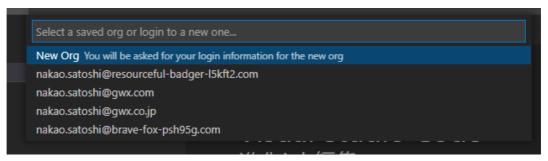
2. 開発環境ディレクトリを選択



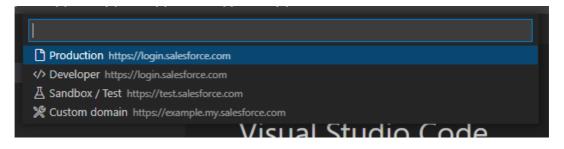
※選択したディレクトリ直下にソースが展開される

#### 3. 開発環境の設定を行う

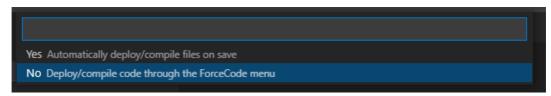
1. 「New Org」を選択



2. 実際の開発環境に合わせて環境の種類を選択



3. 「No」を選択



※ファイルセーブと同時にSalesforceへのデプロイを行うか否かのオプション デグレを防ぐため基本「No」を推奨

4. 「Source」を選択

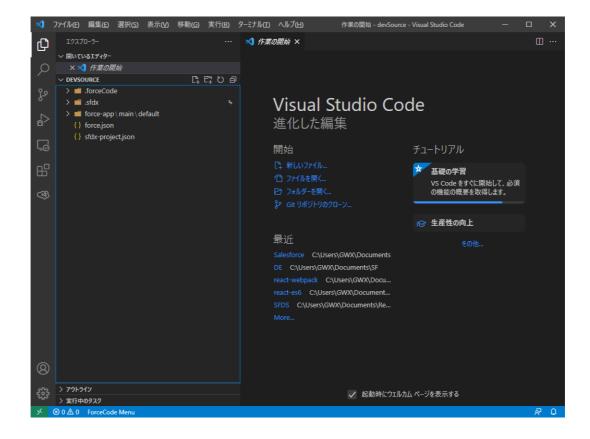
Metadata This is the "classic" format/project folder setup.

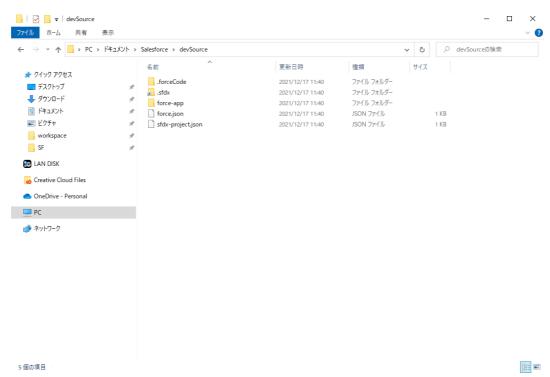
Source This is the SFDX Source format/project folder setup.

5. 規定のブラウザでSFログイン画面が表示されるので対象の開発環境にログイン

salesforce
ユーザ名
パスワード
ログイン
□ ログイン情報を保存する
パスワードをお忘れですか? カスタムドメインを使用
カスタマーユーザではありませんか? 無料トライアル

6. ログイン後、開発用メタデータとフォルダが開発環境ディレクトリに生成される

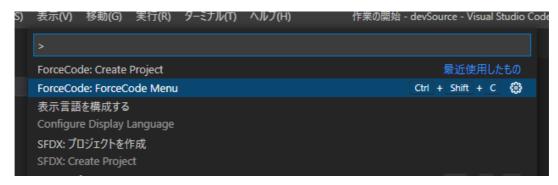




# 4. ソースコード取得

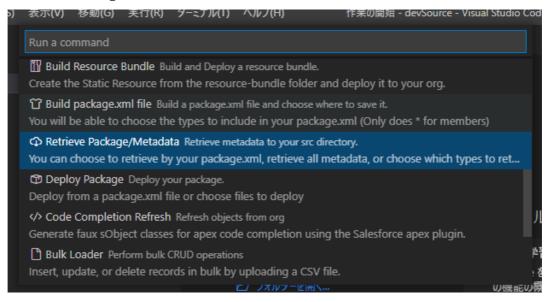
1. 「Ctrl+Shift+P」でコマンドメニュー表示

「ForceCode: ForceCode Menu」を選択

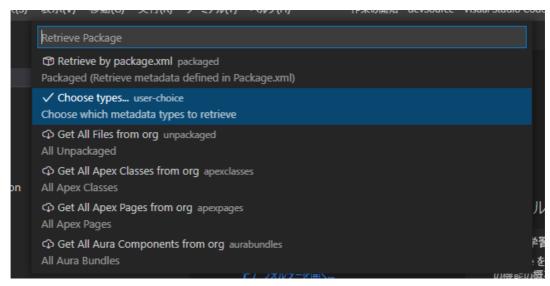


※「Ctrl+Shift+C」で直接呼び出し可能

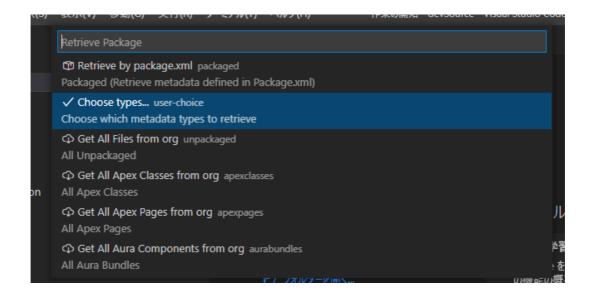
### 2. 「Retrieve Package/Metadata」を選択



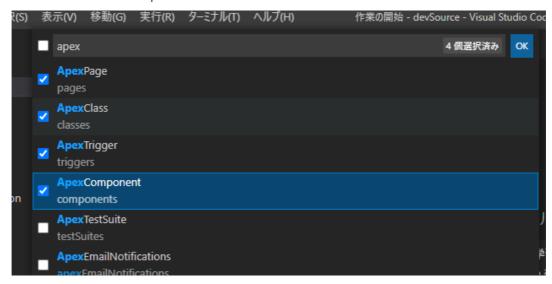
#### 3. 必要なソースの種類を選択



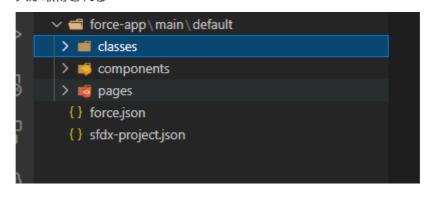
※VisualFoce + Apexのみの開発であれば以下がオススメ「Choose types」



# テキストボックスに「Apex」と入力し、以下の4種を選択して「OK」



# 対象のソースが取得される



#### 5. 開発方法

標準のSalesforce CLIと同様にソースコードをVSCode上で修正できる

ソースデプロイ時はソース上のコンテキストメニューか「Ctrl + Shift + S」のショートカットで 実行

